

發行編輯人 川崎文治

福島縣石城郡平町長橋町廿五番地
發行所 常務毎日新聞社

定価 一部金貳銭 廣一五銭 十二休刊日
郵税五厘 一告一五銭 一行一五銭 日刊

常務新聞

刊夕日六月八

常務論壇

平町の将来 東榮寄

(一)

大戦後に於る好況時代は兎も角現今の如き不景氣も其極に達しいつになつたら回復すべきかを憂ふる時に當り殊に炭礦に依て支配せらるる平町は引續く炭礦不況の結果各商店は青息吐息の有様で年内には閉店の余儀なくせらるる店も續出するに至るべき形勢にある斯の時に當り平町將來に就て一言するも敢て過言ではないのである

今や平町は人口三萬を有し近き將來に於て市制をも實施する計畫で着々其歩を進めて近くは南町裏の新道開鑿に其他總ての施設を目論見つゝあるが元來平町の郡山に運るゝはたまゝ水害の見舞ふ故となし、之れが根本防止策として夏井川筋の實地踏査等に着手せらるゝやに對し實に慶賀に堪へざる次第にて一日も早く起工せられん事を希ふものである

平町をして洪水の危を來さしむる重なる原因は夏井川の氾濫に基く無論にして去る大正二年に於ける洪水の實際見橋が上流に流出せし

實例に見ても明かなる事である然らば之れを防止するには川口の流出を完全にし而して河床を底下せしむるの辦法に依するより外に取るべき道はあらざるべく之れを徹底的實行するには莫大なる經費を支出せねばならぬ現下の財政にして斯の如き莫大なる經費の負擔に堪へ得るか得ざるをせば平町は永久に斯の洪水より脱出する事の出来ぬので將來に於て發展の見込も絶ゆるもので炭礦と共に運命を決定せねばならぬ日も來るであらう

遠藤パン

小僧さん入用 (有聲座席) 喰べてたいしい

内科・外科・耳鼻咽喉科・花柳病科
平町田町電話五二三番

高久病院

内科・外科・花柳病科
耳鼻咽喉科・婦人科
赤心堂病院
平町田町電話四七五番

常磐文藝 賀歌 宮田明愛

あなたふと日毎の物事すみやかに報せむ汝れがおほき務めは

樹ち初めしよりけふに變らぬ新聞紙意氣とまこと主義と方針

樹ち初めてまだ年淺けれ我が郷のさかむを語る新聞たふとし

あすが日に來たる年にとさかゆこそほまれならずや我郷人も

小なれど我が郷人の燈火なれ日毎に榮えて樹てよ新聞紙

開業 (用人生書)

山本齒科醫院

齒科 山本 正 惠

平町白銀町 (平驛前通)

福島縣平町 鹽屋山崎本店

電話 長二七番 振替東京一九七五五番

上野東車坂町四三 東京支店

電話長淺草五七二八番 振替東京六八三一二番

便利と經濟の親玉

瓦斯で炭をたこすには電氣ト金物特賣の「瓦斯火たこし」に限りませ。炭がくすれず取扱ひに便利でございませ。特價たつた金貳拾錢です。御家庭用の釘抜き又は金槌には「小松式四徳金槌」をたすゝめ致しませ。特價僅か廿貳錢で其の便利な事實に驚きませ

特製打刃物はすべて請合ひませ。經濟の親玉文化籠、東洋籠、大正かまごの御試用をも願ひませ。とうぞ見るたけでも來て見て下さい

不停車場前 平電氣株式會社

電機卜金物販賣部

電話平四二八番

貸家廣告

平町新川八十番地裏
同町三十三番地裏
(向宅住家平及建階二)
下越申御記下方御望希御

平町新川吉野中

ツルヤ

平町四丁目 電話百四十

用粧化オ 驗石ニクカ 錢十個壹

女給募集

(大多收月=並給有迄才五十二)

談面細詳

カフエースラン 平町四丁目電話一四五番

加藤營業所 平白銀町電話三二番

仲間町 商店向 十六圓
住宅向 十圓
應匠町 二階建住宅向 十圓
櫻町 住宅向 十八圓
賣地 舊城跡本九・二九
貸地 五丁目表通り

産婆開業 鈴木エ

平町田町(呼電話三三三番) 片寄産婆方

東京帝國醫科大學産婆復習科 卒業

○妊婦産婦御預り致しませ。御困りの方には無料でお扱ひ致します

代價拾錢 藤田家傳 許官正明丹 藤田榮助 平町田町電話三三六番

驚く勿れ蠅の數……

正午迄に十六萬四千

本社の蠅取り競争に集る
最初の試みとして
確かに成功を示した
優勝區は何處か

人氣を集めた「ハイ取り競争」……何にしても平町最初の試みであるだけに一般の好氣心を引いた事は事實である、早朝來長橋町の本社には、審査を行ふかごうかとの問合せが頻々として來る、定刻冲天には煙火が轟いて捕殺蠅持ちの時間開始を合圖する、イの一番に飛び込んだのは長橋町今宮稲店の小僧さん早速目方に掛けて無数の蠅群に惶れを爲す暇もなく後から後からと持ち

幾億の病菌驅除

せ蠅の山

午後からは平衛生會を代表して市原警備病院長が視察に來り「極めて機宜を得た催しです、今後も續けて數回開き度いものだ」と悦に入る。正午迄に持ち集つた蠅の數は無慮十六萬四千であるが、未だ未だ集る模様で、優勝區は長橋町か田町か或ひは鎌田町かと云はれて居るが堤の内からも

大部あり 容易に形勢は逆略し難きものがある

(正午半記)

石城の各炭礦 獎勵金廢止

貯炭が増加

石城郡下し於ける大小三十餘の各炭礦は財界昨今の深刻な不景氣の打撃を受け、城、入山を初めとし何れも需要喚起されぬため貯炭が漸次増加の傾向あり七月末日現在で十一萬噸の貯炭を算してゐるやうな状態にある所から七月から各炭礦とも出炭の増加を圖るため従來は坑夫に對し出炭獎勵金若しくは入坑獎勵金等を名目により月額三圓乃至十圓

驚くべき安價

野菜の投資

地方農村は頃來の米價昂騰

泣き聲交りて押賣り

平署は假責なく檢舉

近半何々孤兒院或は慈善團と稱する怪しげな商人が石城地方に多數入り込み泣き聲交りの哀訴嘆願で執拗な押賣をなすものあり、中には往々眞面目ならざる向きもあるものゝ如く一般の迷惑少からざるが平署では之等のうち慈善團體等美名の下に不正品を押賣するが如き手合を發見次第假責なく取締の方針であると

遊覽船を浮

植田藝妓組合

石城郡植田町藝妓組合に於ては此の程資金三百圓を投じ遊覽船を造り、鮫川河沖に浮べ夏期中之れが清遊の資

食物に無駄がない

食へ物にはする所はないものです

▲キャベツのしんや大根のふは小口から薄く切つて

朝顔品評會

十日より開く

警備朝顔會にては十日より七日間平町二丁目伊關吳服店に於て毎朝六時から十時迄開催する筈であるが朝顔培養研究を獎勵する爲め優良花に對しては銀盃其他の賞品を贈ると

溺れんごした 危ふい命を

漸く救はる

石城郡豊間村大字豊間八幡町藤次郎長男鈴木堅重(九)は去る四日正午頃鹽屋崎燈臺下で水泳中激浪にさらはれ溺死せんとした際同村大

平町物價

品名	單位	價格
白米	一升	四九〇
白米	二升	四八〇
白米	三升	四七〇
白米	四升	四六〇
白米	五升	四五〇
白米	六升	四四〇
白米	七升	四三〇
白米	八升	四二〇
白米	九升	四一〇
白米	一貫	四〇〇
白米	二貫	三九〇
白米	三貫	三八〇
白米	四貫	三七〇
白米	五貫	三六〇
白米	六貫	三五〇
白米	七貫	三四〇
白米	八貫	三三〇
白米	九貫	三二〇
白米	一石	三一〇
白米	二石	三〇〇
白米	三石	二九〇
白米	四石	二八〇
白米	五石	二七〇
白米	六石	二六〇
白米	七石	二五〇
白米	八石	二四〇
白米	九石	二三〇
白米	一十石	二二〇

夏季大學

二名を變更

石城郡四倉町に三日から開講中の夏季大學第二部講師帝大田邊教授及び京大小川兩教授は病氣の爲め豫定を變更し講師を左の如く補缺開講の事となつたが現在の講習生は三百六十九名で大部分は小學校教員で内三十名の女教員講習生がある

平治療院

患者は十名

濱通り及田村郡小野新町に於ける娼妓の有毒者を隔離治療する平治療院の現在收容患者は合計十名で羽岡警察醫が毎日出張手當を施しつゝあるが現在前記各所の娼妓數は平町五七、湯本町八、原町十五、中村町八、小野新町約二十名合計百名内外であると

夏流行の婦人履物

身の置き所もない位に暑い此頃スツキリした透綾が明るい感じの明るい石などで灯の街を散歩する女のとつて最も優美として涼しさを見せるものとして素足にふさはしい下駄の目利なども一つの要素であるが如何にも夏向で涼しさを覺わさせ而も

實用的

なほはどんなものかと先づ其邊を玉下駄屋さんにたづねて見る、何しろ此の季節のものとして汗と脂とはこりの三つ

驚くべき安價

野菜の投資

地方農村は頃來の米價昂騰

夏季大學

二名を變更

石城郡四倉町に三日から開講中の夏季大學第二部講師帝大田邊教授及び京大小川兩教授は病氣の爲め豫定を變更し講師を左の如く補缺開講の事となつたが現在の講習生は三百六十九名で大部分は小學校教員で内三十名の女教員講習生がある